

平成29年度「お山の教室」子どもと自然の関わりについて 保護者アンケートの結果

森のようちえん「島を遊びこむ・お山の教室」

■実施月 平成30年3月

■対象 「お山の教室」に参加しているお子さんの保護者 21名

※平日クラス(週1・2・3コース)または土曜クラスに3カ月以上参加したお子さん(満3歳～6歳)

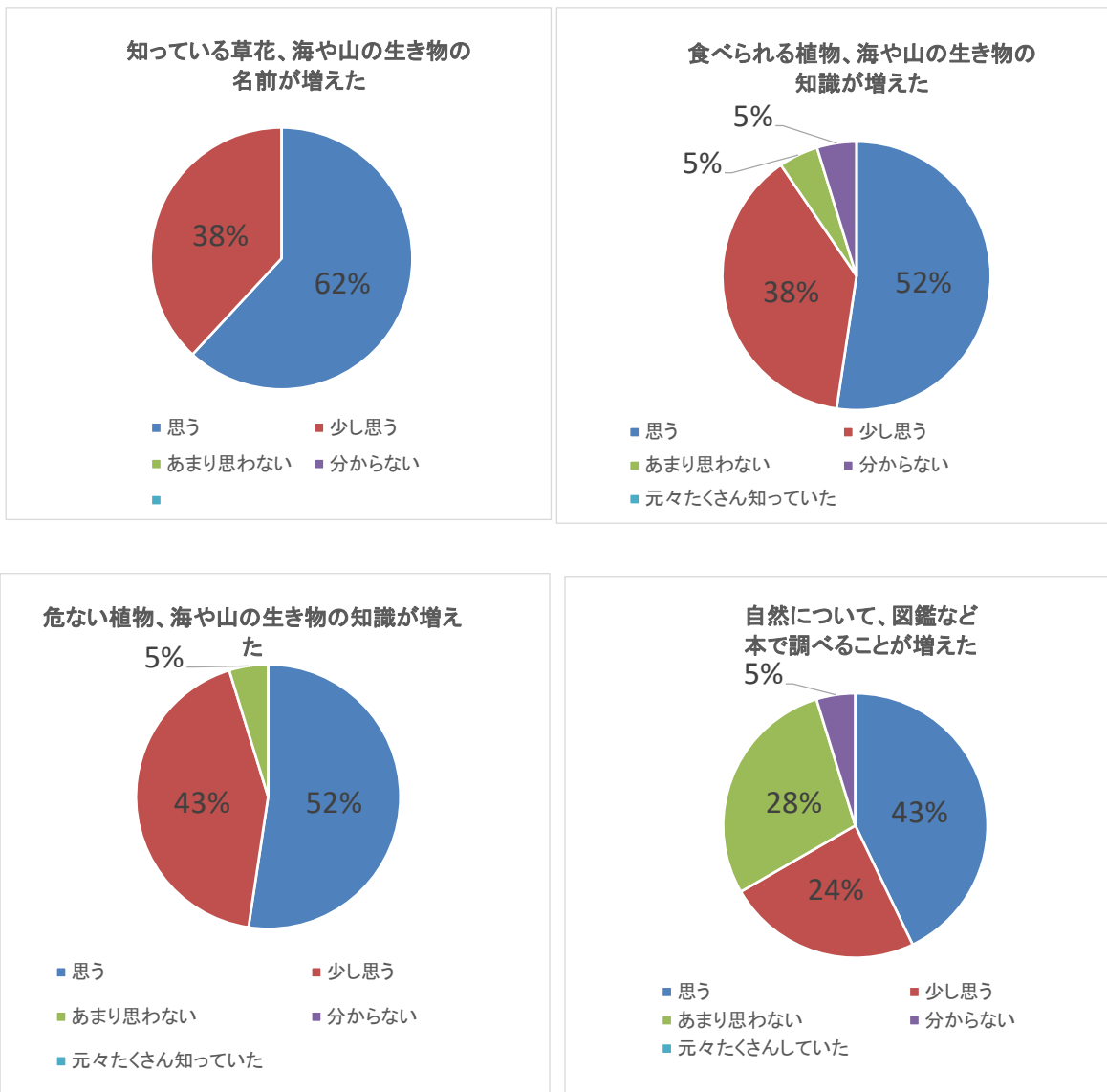
<質問>

◎お山の教室に通うことで見られたお子様の1年間の変化について教えてください。

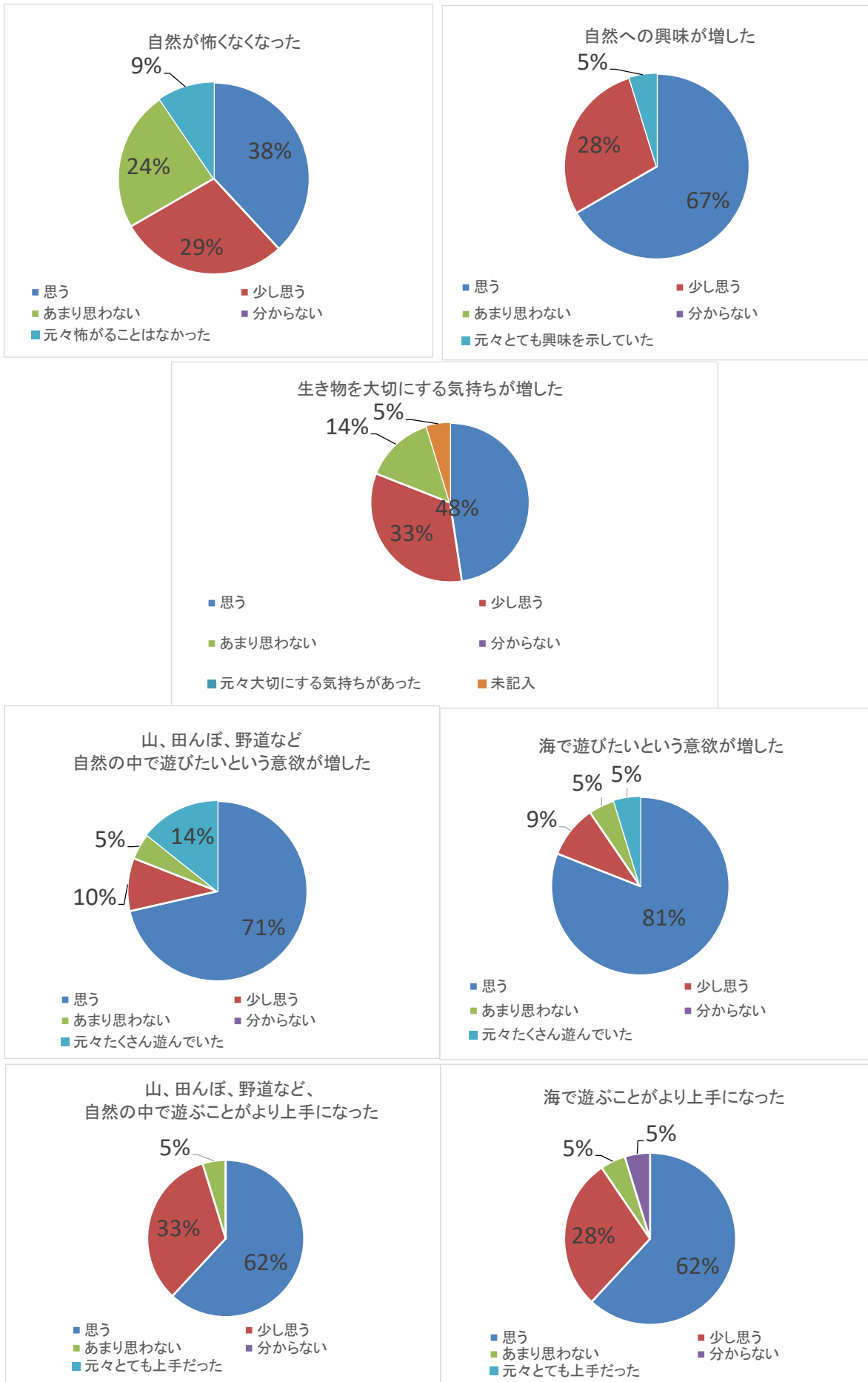
※2017年4月の段階と比較

※「自然」の例・・・植物、動物、虫、鳥、海の生き物(貝、海藻、魚)、岩石、気候、天候

①自然に対する知識について



②自然との関わりについて



③その他、お子様と自然への関わりについて、お子様の変化があれば、ご記入ください。

- ・山や海は生活の一部という意識が強くなったように思います。
- ・寒くても海を見たら、海に入りたい！というようになった。
- ・生き物の名前が会話の中でたくさん出てくる
- ・遊びの中で学んだこと、教えてもらったことを十分に生かして、生活の中にも取り入れていると思う。
においや風を感じることも、ものの見方、表現が豊かになったと思う。
- ・積極的になったと思います。
- ・何を食べるんだろう？どこに住んでいるんだろう？など生き物の生態にまで興味を持つようになってきています。
実際に見たことがあるもの(海も山も)が多いので、生き物図鑑はとてもおもしろそうに見入っています。
- ・日中出ている月や虹等のことも質問してきたり、なぜ夜は暗くなるのか？太陽はどこに行くのか？など
親では答えられない質問がとても増えました。なんでなんだろう？がすぐく頭の中にあるんだと思います。
すぐに的確にわかりやすく答えたいと思いますが中々・・・
- ・とにかく植物の名前を良く知っていて、食べれる、食べれない、どんなにおいがする触ったらどうか、などをたくさん覚えた気がします。
覚えたことを家での遊びの中に取り入れ、更に工夫してみたりして楽しんでいることが多かったです。
- ・今年度は自然と自分の生活が結びつくことが多かった。
例えば、マツボックリは工作で使うだけでなく火をつけるのによく燃えるなど、本当に成長した気がします。
- ・以前は虫全般をこわがっていたが、触れる虫が増えた。
へびやハチなど危険な生物の知識を親にも教えてくれるようになった。
- ・親から離れて、(見えるところで)一人で遊べるようになった。
- ・お山に入ってすぐの変化→
泣きながらも自分の思い、気持ちを言えるようになった。
親が本当に聞いてほしいこと(叱るときや大事なお願い)を上手に聞けるようになった。
- ・お山に入って、最近の変化→
自分のことだけでなく、友達や私(親)の気持ちを考えられるようになった。
難しい事にも挑戦するようになり、一生懸命頑張ったり、あきらめることを自分で判断し納得するまで行動できるようになった。

(土曜クラスのみ参加)

- ・月2回、時には1回しか行けない時もあったので、草花の名前などはなかなか覚えられなかったかもしれませんが、
とにかくお山に行くのを楽しみにしていました。たくさん経験をありがとうございました。
- ・去年までは海に対して怖い気持ちが強く潜ることが苦手でしたが、お山の経験を通して海遊びが好きになり、行く回数も増えました。
野外での遊びがますます好きになり、良いきっかけになりました。
- ・成長と共に野外での活動が更に好きになり、一年間を通して心身共にたくましくなったと感じることが多々あります。
ありがとうございました。
- ・少し虫のことを説明してくれるようになった。虫に対して優しくなった。
金光寺に行った時、はりきって先頭に立って、道案内してくれた。すごうれしそうだった。
- ・自ら自然の変化に気がつくようになった。

④お山の教室の時間以外(ご家庭)で、お子様が自然の中で遊んでいるとき、心配になったこと、気になったことがあればご記入ください。

- ・私自身の知識が乏しく、かぶれる草木花や食べられるもの、そうでないものの判断に迷ったことがある。
- ・危ないことなのかどうか、判断に困る。(なるべく制止したくなくて。)
- ・先頭に立って道案内してくれる、その姿は頼もしいが、時々知識が間違っている。
- ・棒を振り回す。長い棒を持ちたがる。
- ・自分は何でもできると過信しているところが見えて、(良いところでもあるが)前に進みすぎて危ないという見極めができにくく、けがをするのではないかと心配になるときがある。
そんな時「危ない」と声をかけてしまう自分がいて
気持ちをストップさせてしまってよくないと思うことがある。
- ・友達同士で遊ぶとき、竹の棒で戦っているとヒヤッとします。どうしても親たちで見れない時もあるので・・・。
- ・怖いもの知らずになってきて、目を離すと高いところの上っていて、ヒヤッとしたことがありました。
(深い川のへりや海の近くの高い所など)
- ・特にないです。静かに見守っていますが、本人も周りの状況を見ながら、自力でできるのか、他力が必要かと考えているのが、とても伝わってきます。
- ・磯遊びをしている時に、崖から落ちてヒヤッとしました。この子なら大丈夫ってのはないなと思った。

(土曜クラスのみ参加)

- ・棒(木の枝)を持って遊ぶのが怖い。
- ・夢中になりすぎて、見えていない、聞えていないのが心配。